

- ★ 生育は遅れ気味だが中干し時期に突入！  
 ★ 6月14日頃から、早生品種で幼穂形成期となる見込み有り！

### 1 君津地域の生育概況

5月は下旬の一時期を除き、高温多日照の日が続きました。そのため、4月下旬までに植えた生育が遅れていたほ場も回復傾向にあります。草丈は平年並みとなっており、茎数は少ない状況ですが、中干しをするのに十分な茎数を確保しているほ場が多く見受けられます。それぞれのほ場の生育状態を確認し、中干し等の適切な管理を行いましょう。

また、4月20日植え「ふさおとめ」で6月15日頃から幼穂形成期（出穂25日前、幼穂長1mm）になる見込みです。6月も気温が高いことが予測されておりますので、生育が進む可能性が高くなっています。早めに幼穂を確認し、今後の管理に生かしましょう。

### 2 生育調査ほの調査結果（6月1日）

品種		田植え日	葉令	草丈(cm)	茎数 (/株)	茎数 (/㎡)	単葉葉色
ふさおとめ (袖ヶ浦市)	R2年	4/16	9.0	36.0	22.2	355	44.9
	平年	4/16	9.5	38	30.2	460	45.3
	平年比	±0	-0.5	94%	74%	77%	99%
ふさこがね (木更津市)	R2年	4/23	8.0	30.1	11.4	216	38.6
	昨年 (比較)	—	遅い	低い	少ない	少ない	薄い
コシヒカリ (君津市)	R2年	4/26	7.1	38.0	28.1	433	41.3
	昨年 (比較)	—	遅い	高い	並み	少ない	並み
粒すけ	木更津市	4/21	—	37.7	22.4	407	44.0
	君津市	5/2	8.0	32.0	21.9	357	43.8

※平年値は過去10か年（平成22年～令和元年）平均値。ただし、「ふさこがね」、「コシヒカリ」は近年、調査ほ場の変更があったため、昨年と比較した生育進度（葉令は0.5、他は10%以上の差がある時に多い（少ない）等と記載）を記載しています。

また、「粒すけ」は令和2年度より一般栽培が始まった千葉県が育成した新品種です。ただし、木更津市のほ場は参考ほ場のため、簡略化した調査結果になっています。

-郵便で配信している方へお願い-

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたはFAXに切り替えを進めています。

電子メール・FAXをお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 宇津木 i.utsg2@pref.chiba.lg.jp 0438-23-0299（電話）

### 3 これからの管理のポイント

#### ① 「ふさおとめ」「ふさこがね」の幼穂形成期（出穂 25 日前・幼穂長 1mm）の予測

品種	植付時期	幼穂形成期予測	穂肥適期の目安	冷害危険期予測
ふさおとめ	4月20日	6月15日～	6月15～22日	6月25日～
ふさこがね	4月20日	6月17日～	6月24日	6月27日～

#### ② 幼穂形成期を知ることの重要性について

最近、一発肥料も多く使用されるようになってきていますが、幼穂形成期を知ることは今でも重要です。その年の気象条件にも左右はされますが、概ねの範囲内として、

- ・幼穂形成期から 25 日で出穂期（穂がほ場のおよそ半分出てきている状態）
- ・出穂期から各品種一定日数で成熟期（「ふさおとめ」は 33 日、「ふさこがね」は 37 日、「コシヒカリ」は 38 日）となっています。

近年問題となっている斑点米カメムシ類や紋枯病等の防除は出穂期を基準に行うことが重要であり、散布適期を知るためにも幼穂形成期を知ることが重要となります。

#### ③ これからの水管理について

上記①の幼穂形成期の予測日を目安に観察し、幼穂が確認できたら速やかに入水しましょう。また、出穂後 2 週間までは湛水条件を保つようにしましょう。

#### ④ イネクロカメムシの防除

イネクロカメムシは、近年、君津地域全域で発生しています。斑点米カメムシと違って斑点米を作ることは少ないのですが、水稻の茎を吸汁します。吸汁されると葉先の黄変や葉を横断するように黄白色斑点状の食害痕が出て、茎数が減少したり、不稔籾が増加したりするほか、白穂の発生原因にもなります。

5 月中旬～6 月に水田に飛来し、6 月下旬には卵を産んで増えます。田の畦際から侵入するので、その周辺の株元を良く見回り、食害痕が目立つ場合や発生が多い場合は早めに防除しましょう。

なお、日中は株元に潜んでいることが多く、薬剤が直接かかりにくいので、稲が薬剤を吸収して効果を発揮する「粒」剤による防除が効果的です。

液剤や粉剤で防除を行う際には、株元までしっかりかかるように注意して散布しましょう。また、朝や夕方のような比較的涼しい時間帯に株元から上がってくるので、防除時間帯の検討も効果的です。

#### ⑤ 後期除草剤を使用する際の注意点について

とりこぼした雑草や後から発生してくる雑草に効果を発揮する剤である後期除草剤は、「落水」状態で散布、「湛水」状態で散布する剤があります。

大まかな分類として、液剤は「落水」状態で、粒剤は「湛水」状態で散布するものが多いですが、使用前にはラベルの確認をしましょう。

#### ⑥ （三島ダムの水位低下による渇水への対策として）節水への御理解と御協力を！

6 月上旬まで降雨が少ない状況であり、今後の梅雨の降雨状況によっては渇水となる可能性があります。中干しが始まる時期になりますが、かけ流し防止や漏水防止による節水への御協力を今後もお願いします。

※ 次号は「6 月 25 日頃」発行予定